

建設委員会情報連絡【追加】

令和 2 年 1 月 2 3 日

情報連絡件名	頁
(1) 【追加】京成本線荒川橋梁部架替事業推進の要望活動について	2
(2) 【追加】橋梁における PCB 調査状況について	5

(都市建設部)

建設委員会情報連絡

令和元年1月23日

件 名	【追加】京成本線荒川橋梁の架替事業に関する要望活動について
所管部課名	都市建設部企画調整課
内 容	東京都東部低地帯の江東五区（足立区、墨田区、江東区、葛飾区、江戸川区）では、風水害に備えたタイムラインの運用や広域避難による防災行動などソフト対策を進めている。 一方で、人命を守り、社会経済的被害を回避するには河川整備が極めて重要である。特に京成本線荒川橋梁架替事業においては完成までには一定の年数がかかり、予算と人員を確実に確保し事業を進めなければならない。 そのため、江東五区は区長の連名により、国に対して「京成本線荒川橋梁架替事業推進の要望書」を国土交通大臣へ提出したので報告する。 1 要望日時 令和元年1月16日（木） 午後1時10分～ 2 要望先 国土交通省（国土交通大臣 赤羽一嘉） 3 出席者 足立区長 近藤 弥生 葛飾区長 青木 克徳 墨田区長 山本 亨 江東区長代理（総務部長） 石川 直昭 江戸川区長 斎藤 猛 参議院議員（東京選挙区） 山口 那津男 4 要望書及び提出時の状況 別紙1（要望書）、別紙2（提出時の状況）参照 P3～4
問 題 点 今後の方針	今後も、江東五区と協力し、京成本線荒川橋梁の架替事業の推進に向け国へ要望していく。

京成本線荒川橋梁架替事業推進の要望書

貴台に置かれましては、日頃より荒川水系の総合的な治水・利水対策にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

荒川は、政治・経済の中核機能が集中する首都圏を貫流する重要な河川であり、ひとたび氾濫すれば、我が国の社会経済活動に対しても計り知れない影響を与えます。

東京都東部低地帯の江東五区（墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区）は荒川沿川に位置し、大規模水害により浸水する可能性のある地域に約 250 万人が住んでいます。

昨年の台風 19 号では、荒川の熊谷水位観測所、治水橋水位観測所などにおいて観測史上最高を上回る水位を記録し、上流部の荒川水系越辺川、都幾川の堤防決壊、越水による外水氾濫が発生しました。下流部においても氾濫危険水位に迫る状況であり、幸いにも洪水はおきませんでしたが、多くの区民が強い危険を覚え避難をしました。

近年は、気候変動による台風の激化・巨大化、豪雨の頻発化・激甚化が進み、懸念される水害リスクがこれまで以上に増大し、顕在化しています。

これまで江東五区で、広域避難による防災行動など、ソフト対策による減災の取り組みを進めてきましたが、台風 19 号により、人命を守り、社会経済的被害を回避するには、国政として治水事業を推進していただくことが極めて重要と改めて実感させられました。

特に京成本線荒川橋梁付近の堤防は、明治末期から高度経済成長期にかけての地盤沈下や堤防嵩上げにより、現在では周辺の堤防より 3 m 以上低くなっており、荒川の重要水防箇所のひとつとされています。現在架替事業に着手してはおりますが、完成までには一定の年数がかかると聞いております。

江東五区といたしましては、かかる事情をご賢察いただき、京成本線荒川橋梁架替事業のための予算と人員を確保し事業を確実に進めていただくとともに、さらなる区との連携や地域の水防活動の取り組みへの支援にもご協力いただきますよう強く要望いたします。

【要望書提出時の状況】



赤羽国土交通大臣に要望書を提出

建設委員会情報連絡

令和2年1月23日

件 名	【追加】橋梁におけるP C B調査状況について								
所管部課名	道路整備室街路橋りょう課								
内 容	区が管理する橋梁における塗装成分のP C B調査状況について、以下のとおり報告する。 1 P C Bの製造・使用期間 昭和41年から昭和49年まで（昭和49年から製造使用は禁止） 2 P C Bの製造・使用期間に設置された橋梁（別紙参照 P 6） <table border="1"> <thead> <tr> <th>橋 梁 名</th><th>竣 工 年 次</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①堀切駅跨線人道橋</td><td>昭和43年</td></tr> <tr> <td>②堀切2号橋</td><td>昭和43年</td></tr> <tr> <td>③みどり歩道橋</td><td>昭和48年</td></tr> </tbody> </table> 現在、以上の3橋については、橋梁の長寿命化計画委託の中で、調査中であり、令和2年5月までに調査結果が判明する予定である。 なお、西新井駅竹ノ塚駅間跨線人道橋（昭和48年竣工）は、平成27年に調査を行いP C B検出なし。 栗六陸橋（昭和49年竣工）は、平成30年に調査を行いP C B検出なし。 ※P C B（ポリ塩化ビフェニール）とは 人工の油状の化学物質で屋内の変圧器の絶縁油などのほか、塗料に混ぜ、橋梁など屋外施設のさび止めとして広く使用されてきた。	橋 梁 名	竣 工 年 次	①堀切駅跨線人道橋	昭和43年	②堀切2号橋	昭和43年	③みどり歩道橋	昭和48年
橋 梁 名	竣 工 年 次								
①堀切駅跨線人道橋	昭和43年								
②堀切2号橋	昭和43年								
③みどり歩道橋	昭和48年								
問 題 点 今後の方針	調査中の3橋については、判定結果がわかり次第、適切な対応を実施していく。								

